平成 20 年 6 月 24 日

各　位

神奈川県相模原市古淵二丁目 14 番 20 号
ブックオフコーポレーション株式会社
代表者　代表取締役社長　佐　藤　弘　志
(コード番号:3313 東証第一部)
問合せ先　専務取締役　松　下　展　千
電話番号　042-750-8588

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 20 年 3 月期　決算短信」の一部訂正について

平成 20 年 5 月 14 日付で発表しました「平成 20 年 3 月期　決算短信」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また数値データにも訂正がありましたので、訂正後数値データを送信いたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

記

訂正箇所

(3) 連結キャッシュ・フローの状況　（１ページ）

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年３月期	2,498	△3,229	1,361	4,463
19 年３月期	1,685	△1,773	862	3,843

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年３月期	2,429	△3,110	1,311	4,463
19 年３月期	1,685	△1,773	862	3,843

１．経営成績

(2) 財政状態に関する分析　（６ページ）

【訂正前】

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期年度末に比べ 620 百

万円増加し4,463百万円となりました。内訳としては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益を中心にして2,498百万円、投資活動によるキャッシュ・フローは新規出店やオンライン事業の初期投資による有形固定資産と無形固定資産、関係会社株式の取得等によりマイナス 3,229 百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは借入等により1,361百万円でした。

当連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,498百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,605百万円や減価償却費の1,354百万円、前当社代表取締役坂本孝氏より受領した解決金741百万円等によるものです。

前年同期との比較では、営業活動の結果得られた資金は前期比813百万円増加しました。これは主に棚卸資産の増加額の減少943百万円、減価償却費の増加351百万円、解決金741百万円、法人税等の支払額の減少532百万円等による増加分が税金等調整前当期純利益の減少分734百万円をカバーしたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,229百万円となりました。これは主に新規出店やオンライン事業の初期投資等による有形固定資産の取得933百万円、無形固定資産の取得710百万円及び差入保証金の増加803百万円や、関係会社株式の取得425百万円によるものです。

前年同期との比較では、投資活動の結果使用した資金は1,456百万円増加いたしました。これは主にオンライン事業に対する初期投資等としての有形固定資産の増加256百万円及び無形固定資産の増加265百万円の増加、投資有価証券の増加267百万円、SCI BOC FRANCE等の関係会社株式取得による増加425百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,361百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の返済を進めた一方で、新たな資金需要に対応した資金を財務バランスを考慮し短期借入金により調達したことによるものです。

〈自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオの推移〉

	2006/3期 (平成18年3月期)	2007/3期 (平成19年3月期)	2008/3期 (平成20年3月期)
自己資本比率(%)	40.0	40.9	38.0
時価ベースの自己資本比率(%)	222.0	151.7	38.7
債務償還年数(年)	3.8	5.9	5.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	15.4	12.8	15.3

(注) 自己資本比率(%) :自己資本/総資産
時価ベースの自己資本比率(%) :株式時価総額/総資産
債務償還年数(年) :有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍):営業キャッシュ・フロー/利払い

【訂正後】

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期年度末に比べ 620 百万円増加し 4,463 百万円となりました。内訳としては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益を中心にして 2,429 百万円、投資活動によるキャッシュ・フローは新規出店やオンライン事業の初期投資による有形固定資産と無形固定資産、関係会社株式の取得等によりマイナス 3,110 百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは借入等により 1,311 百万円でした。

当連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 2,429 百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益 2,605 百万円や減価償却費の 1,354 百万円、前当社代表取締役坂本孝氏より受領した解決金 741 百万円等によるものです。

前年同期との比較では、営業活動の結果得られた資金は前期比 744 百万円増加しました。これは主に棚卸資産の増加額の減少 956 百万円、減価償却費の増加 351 百万円、解決金 741 百万円、法人税等の支払額の減少 532 百万円等による増加分が税金等調整前当期純利益の減少分 734 百万円をカバーしたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 3,110 百万円となりました。これは主に新規出店やオンライン事業の初期投資等による有形固定資産の取得 916 百万円、無形固定資産の取得 677 百万円及び差入保証金の増加 803 百万円や、関係会社株式の取得 425 百万円によるものです。

前年同期との比較では、投資活動の結果使用した資金は 1,336 百万円増加いたしました。これは主にオンライン事業に対する初期投資等としての有形固定資産の増加 239 百万円及び無形固定資産の増加 232 百万円の増加、投資有価証券の増加 267 百万円、SCI BOC FRANCE 等の関係会社株式取得による増加 425 百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は 1,311 百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の返済を進めた一方で、新たな資金需要に対応した資金を財務バランスを考慮し短期借入金により調達したことによるものです。

〈自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオの推移〉

	2006/3 期 （平成 18 年 3 月期）	2007/3 期 （平成 19 年 3 月期）	2008/3 期 （平成 20 年 3 月期）
自己資本比率（%）	40.0	40.9	38.0
時価ベースの自己資本比率（%）	222.0	151.7	38.7
債務償還年数（年）	3.8	5.9	5.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	15.4	12.8	14.9

（注） 自己資本比率（%） ：自己資本/総資産
時価ベースの自己資本比率（%） ：株式時価総額/総資産
債務償還年数（年） ：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）：営業キャッシュ・フロー/利払い

４．連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表　(12 ページ)

【訂正前】

		前連結会計年度 （平成 19 年３月 31 日）			当連結会計年度 （平成 20 年３月 31 日）			対前年比
区分	注記番号	金額（千円）		構成比（%）	金額（千円）		構成比（%）	増減（千円）
（純資産の部）								
Ⅰ　株主資本								
１．資本金			2,520,494	9.9		2,523,494	8.8	3,000
２．資本剰余金			2,714,283	10.6		2,717,283	9.4	3,000
３．利益剰余金			5,558,450	21.7		6,383,967	22.1	825,516
４．自己株式			△466,100	△1.8		△738,778	△2.5	△272,678
株主資本合計			10,327,127	40.4		10,885,965	37.8	558,837

【訂正後】

		前連結会計年度 （平成 19 年３月 31 日）			当連結会計年度 （平成 20 年３月 31 日）			対前年比
区分	注記番号	金額（千円）		構成比（%）	金額（千円）		構成比（%）	増減（千円）
（純資産の部）								
Ⅰ　株主資本								
１．資本金			2,520,494	9.9		2,523,494	8.8	3,000
２．資本剰余金			2,714,283	10.6		2,717,283	9.4	3,000
３．利益剰余金			5,558,450	21.7		6,383,967	22.2	825,516
４．自己株式			△466,100	△1.8		△738,778	△2.6	△272,678
株主資本合計			10,327,127	40.4		10,885,965	37.8	558,837

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書　(17 ページ)

【訂正前】

		前連結会計年度 (自　平成 18 年４月１日 至　平成 19 年３月 31 日)	当連結会計年度 (自　平成 19 年４月１日 至　平成 20 年３月 31 日)	対前年比
区分	注記番号	金額（千円）	金額（千円）	増減 （千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー				
（中略）				
売上債権の増減額（増加：△）		7,579	△391,012	△398,592
たな卸資産の増減額（増加：△）		△1,024,636	△81,270	943,365
仕入債務の増減額（減少：△）		△37,714	133,563	171,278
未払金の増減額（減少：△）		1,067	329,249	328,181
未払費用の増減額（減少：△）		104,291	47,220	△57,071
その他		△15,659	△346,081	△330,422
小計		3,742,175	3,292,724	△449,450
利息及び配当金の受取額		10,984	15,100	4,116
利息の支払額		△134,250	△171,951	△37,701
解決金収入		－	741,719	741,719
特別利益「その他」		－	22,000	22,000
法人税等の支払額		△1,933,445	△1,401,036	532,408
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,685,464	2,498,556	813,092

		前連結会計年度 （自　平成18年４月１日 至　平成19年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成19年４月１日 至　平成20年３月31日）	対前年比
区分	注記番号	金額（千円）	金額（千円）	増減 （千円）
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金、定期積金の預入れによる支出		△360,539	△433,072	△72,533
定期預金、定期積金の払戻による収入		361,789	437,624	75,834
有形固定資産の取得による支出		△676,892	△933,119	△256,226
無形固定資産の取得による支出		△445,549	△710,975	△265,425
投資有価証券の取得による支出		△119,049	△386,484	△267,435
関係会社株式の取得による支出		－	△425,510	△425,510
差入保証金の増加による支出		△793,924	△803,647	△9,722
差入保証金の減少による収入		180,690	314,396	133,706
その他		79,492	△289,202	△368,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,773,983	△3,229,991	△1,456,007
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる収入		3,760,000	10,770,000	7,010,000
短期借入金の返済による支出		△3,452,136	△7,930,202	△4,478,066
長期借入れによる収入		4,280,000	2,660,000	△1,620,000
長期借入金の返済による支出		△2,829,509	△2,727,152	102,357
長期未払金の返済による支出		△839,470	△925,219	△85,749
株式の発行による収入		124,812	6,000	△118,812
自己株式の取得による支出		－	△272,678	△272,678
配当金の支払額		△180,964	△219,374	△38,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		862,732	1,361,373	498,640

【訂正後】

		前連結会計年度 （自　平成18年４月１日 至　平成19年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成19年４月１日 至　平成20年３月31日）	対前年比
区分	注記番号	金額（千円）	金額（千円）	増減 （千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー				
（中略）				
売上債権の増減額（増加：△）		7,579	△391,012	△398,592
たな卸資産の増減額（増加：△）		△1,024,636	△67,896	956,740
仕入債務の増減額（減少：△）		△37,714	133,563	171,278
未払金の増減額（減少：△）		1,067	256,555	255,487
未払費用の増減額（減少：△）		104,291	47,220	△57,071
その他		△15,659	△355,852	△340,193
小計		3,742,175	3,223,633	△518,542
利息及び配当金の受取額		10,984	15,100	4,116
利息の支払額		△134,250	△171,951	△37,701
解決金収入		－	741,719	741,719
特別利益「その他」		－	22,000	22,000
法人税等の支払額		△1,933,445	△1,401,036	532,408
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,685,464	2,429,465	744,001

		前連結会計年度 （自　平成18年４月１日 至　平成19年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成19年４月１日 至　平成20年３月31日）	対前年比
区分	注記番号	金額（千円）	金額（千円）	増減 （千円）
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金、定期積金の預入れによる支出		△360,539	－	360,539
定期預金の預入れによる支出		－	△433,072	△433,072
定期預金、定期積金の払戻による収入		361,789	437,624	75,834
有形固定資産の取得による支出		△676,892	△916,683	△239,790
無形固定資産の取得による支出		△445,549	△677,829	△232,279
投資有価証券の取得による支出		△119,049	△386,484	△267,435
関係会社株式の取得による支出		－	△425,510	△425,510
差入保証金の増加による支出		△793,924	△803,647	△9,722
差入保証金の減少による収入		180,690	314,396	133,706
その他		79,492	△219,693	△299,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,773,983	△3,110,900	△1,336,916
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる収入		3,760,000	10,720,000	6,960,000
短期借入金の返済による支出		△3,452,136	△7,930,202	△4,478,066
長期借入れによる収入		4,280,000	2,660,000	△1,620,000
長期借入金の返済による支出		△2,829,509	△2,727,152	102,357
長期未払金の返済による支出		△839,470	△925,219	△85,749
株式の発行による収入		124,812	6,000	△118,812
自己株式の取得による支出		－	△272,678	△272,678
配当金の支払額		△180,964	△219,374	△38,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		862,732	1,311,373	448,640

注記事項

（連結貸借対照表関係）　（26 ページ）

【訂正前】

前連結会計年度 （平成 19 年３月 31 日）	当連結会計年度 （平成 20 年３月 31 日）
３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行１行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　500,000千円 借入実行残高　100,000千円 差引額　400,000千円	３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行５行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　3,600,000千円 借入実行残高　1,100,000千円 差引額　2,500,000千円

【訂正後】

前連結会計年度 （平成 19 年３月 31 日）	当連結会計年度 （平成 20 年３月 31 日）
３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行１行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　500,000千円 借入実行残高　100,000千円 差引額　400,000千円	３　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行５行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　3,800,000千円 借入実行残高　1,200,000千円 差引額　2,600,000千円

（リース取引関係）　（31 ページ）

【訂正前】

前連結会計年度 （自　平成 18 年４月１日 至　平成 19 年３月 31 日）	当連結会計年度 （自　平成 19 年４月１日 至　平成 20 年３月 31 日）
２．オペレーティング・リース取引 未経過リース料 １年内　235,734千円 １年超　955,311 合計　1,191,046	２．オペレーティング・リース取引 未経過リース料 １年内　188,200千円 １年超　767,757 合計　955,957

【訂正後】

前連結会計年度 （自　平成 18 年４月１日 至　平成 19 年３月 31 日）	当連結会計年度 （自　平成 19 年４月１日 至　平成 20 年３月 31 日）
２．オペレーティング・リース取引 未経過リース料 １年内　235,734千円 １年超　955,311 合計　1,191,046	２．オペレーティング・リース取引 未経過リース料 １年内　182,970千円 １年超　763,290 合計　946,261

（セグメント情報）

ａ．事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度（自　平成 19 年４月１日　至　平成 20 年３月 31 日）　（34 ページ）

【訂正前】

	ブックオフ事業（千円）	キッズ・婦人服事業（千円）	ビデオレンタル事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
Ⅱ　資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出							
資産	20,804,499	1,225,569	452,865	2,097,920	24,580,854	4,243,896	28,824,751
減価償却費	1,025,796	105,894	50,151	109,425	1,291,267	63,574	1,354,841
減損損失	144,941	79,964	－	24,488	249,394	－	249,394
資本的支出	2,108,111	175,173	11,398	193,764	2,488,448	78,689	2,567,137

（注）１．（省略）

２．（省略）

３．（省略）

４．資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産（4,243,896 千円）の主なものは、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。

５．（省略）

６．会計方針の変更

有形固定資産の減価償却の方法

「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」４．(2)イ．（会計方針の変更）に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度から減価償却の方法を変更しております。これにより、当連結会計年度の営業費用は、ブックオフ事業が 41,718 千円、キッズ・婦人服事業が 2,577 千円、ビデオレンタル事業が 196 千円、その他事業が 6,179 千円、消去又は全社が 5,881 千円増加し、営業利益が同額減少しております。

【訂正後】

	ブックオフ事業（千円）	キッズ・婦人服事業（千円）	ビデオレンタル事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
Ⅱ　資産、減価償却費、減損損失及び資本的支出							
資産	20,781,423	1,214,856	449,582	2,112,923	24,558,786	4,265,965	28,824,751
減価償却費	1,025,796	105,894	50,151	109,425	1,291,267	63,574	1,354,841
減損損失	144,941	79,964	－	24,488	249,394	－	249,394
資本的支出	2,108,111	175,173	11,398	193,764	2,488,448	78,689	2,567,137

（注）１．（省略）

２．（省略）

３．（省略）

４．資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産（4,265,965 千円）の主なものは、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。

５．（省略）

６．会計方針の変更

有形固定資産の減価償却の方法

「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」４．(2)イ．（会計方針の変更）に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度から減価償却の方法を変更しております。これにより、当連結会計年度の営業費用は、ブックオフ事業が 44,563 千円、キッズ・婦人服事業が 2,933 千円、ビデオレンタル事業が 196 千円、その他事業が 6,534 千円、消去又は全社が 2,324 千円増加し、営業利益が同額減少しております。

５．個別財務諸表

注記事項

（貸借対照表関係）　（49 ページ）

【訂正前】

前事業年度 （平成 19 年３月 31 日）	当事業年度 （平成 20 年３月 31 日）
４　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行１行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　500,000千円 借入実行残高　100,000千円 差引額　400,000千円	４　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行５行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　3,600,000千円 借入実行残高　1,100,000千円 差引額　2,500,000千円

【訂正後】

前事業年度 （平成 19 年３月 31 日）	当事業年度 （平成 20 年３月 31 日）
４　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行１行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　500,000千円 借入実行残高　100,000千円 差引額　400,000千円	４　当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行５行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越極度額の総額　3,800,000千円 借入実行残高　1,200,000千円 差引額　2,600,000千円

以上